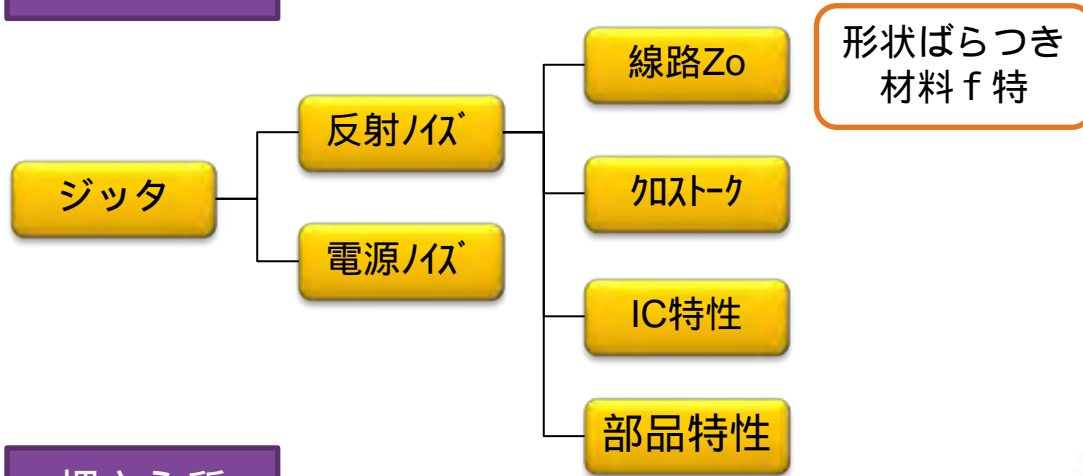


# 設計検証時は合格だったが、量産品でジッタがスペックアウトした

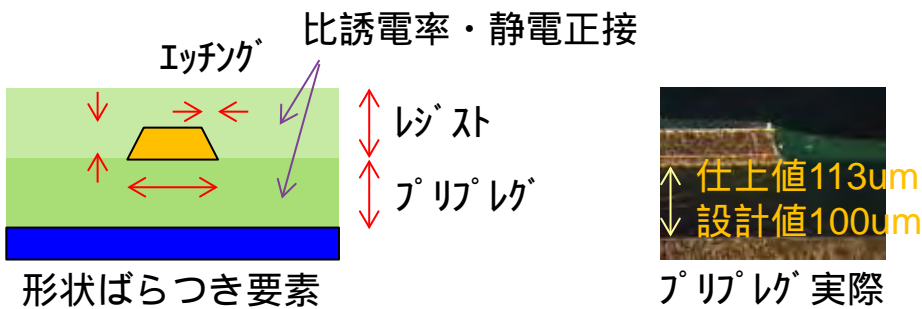
お困り事: 高速I/F部に対し、伝送線路解析で事前検証をしていたが、量産品でジッタがスペックアウトして、原因が分からない

## ジッタ要因

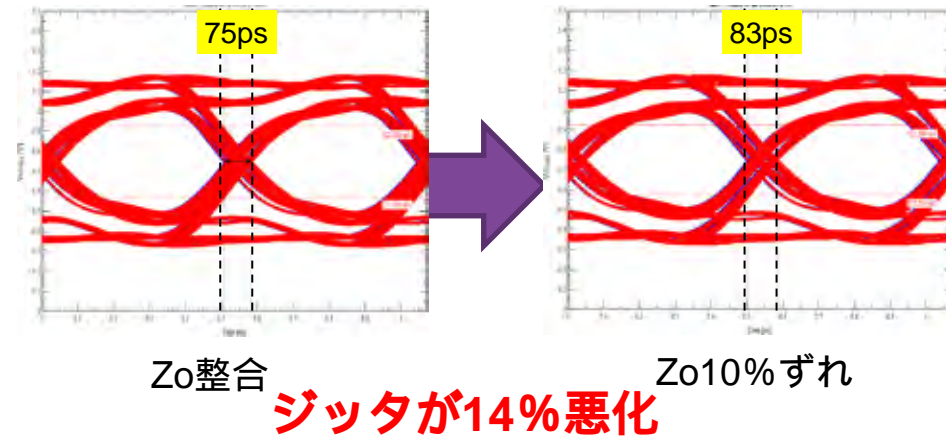


リーン設計では、解析と実測の差分（つまり基板の設計と仕上の差分）で最も影響が出やすいプリプレグの厚み、線路Zo等のばらつき要素を考慮して解析検証するので、量産品のジッタトラブルを未然防止できる

## 押さえ所



## Zoのずれに対するジッタ変化



仕上り値のずれを解析時に考慮し、試作 量産でのジッタ課題を未然防止